

抗菌・光沢・防指紋 画面保護フィルム

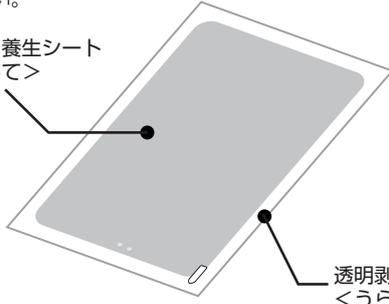
貼り付けをはじめる前に：本フィルムの形状をご確認ください

①おもて・うらの確認

★色が付いた養生シートが貼ってある面が表面です。

画面保護フィルム本体の表面には、色が付いた養生シートが貼ってあります。養生シートはタブレットへの本体への貼り付けが終わってからはがしてください。

色付き養生シート
<おもて>



透明剥離シート
<うら>

画面保護フィルムよりひとまわり大きいサイズの透明シートが剥離シート（裏面）です。剥離シートは画面保護フィルム本体裏面の粘着面をカバーしており、本体をタブレットへ貼付するときにはがします。

②サイズなどの確認

★タブレットの形状に合わせ
2箇所の開口をおこなっています。

★画面保護フィルム本体は、タブレットのディスプレイサイズよりわずかに小さく設計しています。

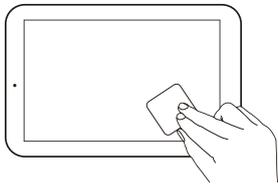
あらかじめ画面保護フィルムをタブレットに仮あてして、ディスプレイ面周囲のサイズ感や、Webカメラ用開口位置の見当をつけてから貼り付けをおこなってください。

照度センサー用開口
(タブレット側は黒くしか見えない部分です)
Webカメラ用開口
(カメラサイズに対して大きめに開口しています)

貼り付け方法

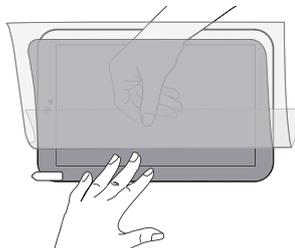
あくまで一例です。作業しやすい方法でお貼り付けください

※イラストはイメージです。



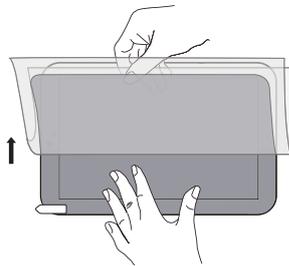
①タブレット画面の汚れ、指紋、ほこりを丁寧に拭き取ります。

※画面に汚れやほこりが付着していると、気泡や浮きの原因になります。

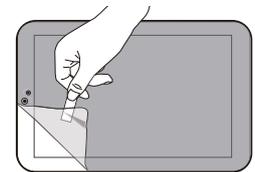


②裏面の粘着面側の、フィルムより一回り大きな透明剥離シートの一部をゆっくりはがし、カメラ穴の位置やフィルムの角度を確認しながら、一部はがした面を手前にして、はじめに長辺側の貼り位置を確定させます。

※粘着面に指紋やホコリが付着しないように注意してください。



③透明剥離シートをはがしながら、気泡が入らないよう注意して、手前から奥に向かってゆっくり貼り付けていきます。フィルムを貼ったあとに残った気泡は、指先でフィルムの端へ押し出して抜いてください。



④最後に、養生シートのタグをつかみ、ゆっくりとはがします。

※タグを無理に引っ張ると、タグのみが取れたり、フィルム自体が浮いてしまうことがあります。

※一度貼ったフィルムをはがす場合は、フィルムの端にセロハンテープを貼り、フィルムの端を浮かすようにセロハンテープを持ち上げてください。爪の端などではがそうとすると、フィルムが傷む場合があります。

貼り付け時のアドバイス

- 貼り付けは、ホコリが発生しにくい場所（浴室など）で作業することを推奨いたします。
- タブレットの長辺側からフィルムを貼っていくとずれが起きにくくなります。
- 気泡のサイズによっては気泡が消えない場合があります。その場合は、気泡の入った部分まで端から慎重にフィルムをはがし、ホコリなどをセロハンテープで貼り除き、中央側から外側に向けて再度貼り付けます。

ご注意

- ホコリや異物が混入したままフィルムを貼り付けると気泡発生の原因となります。貼り付ける際は、あらかじめ取り除いてください。
- 気泡を取り除く際は、カメラレンズやセンサーなどを傷つけないようにご注意ください。
- 硬いもので強く擦ったり、押ししたりすると、フィルムが傷ついたり、画面が破損する場合がありますのでご注意ください。
- 本製品はタブレットを衝撃や傷から完全に保護するものではありません。
- 本製品を用途以外の目的にご使用にならないでください。
- フィルムは消耗品です。ご使用の方法や環境などにより耐用期間は異なります。
- 本製品に記載のある会社名・製品名などは、一般に各社の登録商標です。
- 本書のイラストはイメージです。実際の商品とは異なる場合があります。

【免責事項】

- フィルムの貼り付け/はがす際のタブレットの破損・損傷・怪我や貼り付けミスについて、また本製品を使用しての事故・故障・データの損失に関して一切の責任を負いません。
- お客様ご自身がおこなう場合以外のフィルムの貼り付けまたは貼り直し作業の費用は、いかなる場合でも有償扱いとなります。
- タブレットの修理の際、修理の都合上フィルムをはがす必要が生じる場合があります。この場合、はがしたフィルムの再利用はできません。本製品、貼り付け先のタブレットおよび修理には、修理の際にはがした本製品への補償や再貼り付け作業などの保証は含まれておりませんのであらかじめご了承ください。

製品内容

・画面保護フィルム(本体)×1